

RESIDENT  
in  
NAGASAKI

*with*

N

\*01

2014 | SPRING | ウィズン |

長崎県医師臨床研修協議会〔新・鳴瀧塾〕



長崎県の研修医たち





## INDEX

P.02 | Nana Motokawa

P.04 | Mari Ikenaga

P.06 | Moe Kanda

P.08 | Kyohei Araki

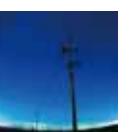
P.10 | Aki Hirano

P.12 | Kaori Oyama

P.14 | Takahiro Ikeda

# RESIDENT in NAGASAKI *with* **N**

長崎県の研修医たち





休日のたびに、休むのが  
「もったいないなあ」って  
思うくらい充実した研修医生活を  
送っています。

## | PROFILE | Nana Motokawa

出身地：長崎県大村市  
出身大学：島根大学医学部 2013年度卒  
趣味：ドライブ、ジム  
座右の銘：謙虚と堅実  
大切なモノ・コト：健康、友人との写真

上の先生方が  
丁寧に指導して  
くださるので安心！



積極的に手技を経験しています。こうした経験の一つひとつが医師としての自信につながっています。

きた医療英会話が学べるのも、佐世保市立総合病院ならではの魅力ですね。仕事が早く終わったときはジムに行ったり筋トレしたり、同期や上の先生たちと一緒に飲みに行ったりしています。私の毎日は楽しみは、パン屋さんに行くこと。病院の近くに美味しいパン屋さんがあって、朝の出勤途中に寄ったりします。休日にはドライブに出かけたり、夏休みには家族で韓国旅行に行きました。でも休日のたびに休むのが「もったいないなあ」と思つてしまつ位、研修が充実しているんです。だから休日も病院に顔を出していることが多いですね。

島根大学在学中は長崎県の魅力を周りのみんなにアピールしていましたね（笑）。そのくらい長崎が好きで、卒業したら長崎に戻ろうと決めていました。佐世保市立総合病院を研修先に選んだ理由は、研修医の数が多くすぎず少ないと感じたから。実際にコモンディンサルトもしやすく、経験できる症例数が多いと感じています。コモンディジーズから、重症や頻度の低い疾患まで幅広く診ることができます。

先日は麻酔科を回って2ヶ月の間で92件もの麻酔を経験しました。数を経験できるつて、医師としての自信にもつながるんですね。そして、その自信が、より積極的な自分と向上心を生み出してくれるんです。最初の頃は、呼吸器内科を将来の専門にと思っていたが、科を回っていくうちに色々と興味が出てきて、今はどの科に進もうか迷走中です（笑）。

ここは病院全体の雰囲気もよくて、院長先生をはじめとして、みんながとてもフレンドリーなんですね。あと、米軍診療所研修や、米軍基地からドクターとナースに来ていただき、ネイティブな生



空いた時間や休日の何気ない時間も、ノートを見直したりiPadで調べ物をしたり、勉強しています。そんな時間も大好きですね。自分の成長につながることなんですね。



友だちと一緒に嬉野・雲仙へ温泉旅行に。嬉野温泉も雲仙温泉も、肌がキレイになる「美人の湯」として有名です。

## Feature 01 佐世保市立総合病院 初期臨床研修医 本川奈々先生



患者さんと話をするときは、同じ目線で接することを心がけています。患者さんの心に寄り添える医師になりたいですね。



この瞬間が  
幸せなひととき



仕事帰りは、「まつりんご」という食べ歩きの会をつくって同期や上の先生たちと美味しい店を見つけて食べに行ったり、休日は料理を勉強していますね。料理本を買って1ページずつ順番に作って、余ったおかずは平日の弁当にしています。あと、毎月、その月の誕生日の先生をケーキでお祝いしているんです。私が誕生日企画を考え、美味しいケーキ屋さんを開拓して誕生日ケーキを用意しています。夏休みにはニューヨークへ旅行に行ったりとオフも充実していて、研修医のイメージにあるような、雑務に追われる辛い生活ではありません(笑)。医師になつて本当に良かったと思える日々を過ごしています。



お手本となる先生がいる病院がいいと思いつつ

に決めました。でも科を回るうち放射線科にも興味が出てきて、どうしようかなと(笑)。

研修は、「やらされる」のではなく、自由に積極的に学んでいくという雰囲気があります。内視鏡検査があれば、「先生、内視鏡やりたいです」と手を挙げる。先生も「いいよ、いいよ」という感じで。内科を回ついた時は一日に2件は内視鏡をさせていただきました。

将来は、患者さんが遠慮なく何でも気軽に相談してくれるような医師になりたいですね。仕事帰りは、「まつりんご」という食べ歩きの会をつくって同期や上の先生たちと美味しい店を見つけて食べに行ったり、休日は料理を勉強していますね。料理本を買って1ページずつ順番に作って、余ったおかずは平日の弁当にしています。あと、毎月、その月の誕生日の先生をケーキでお祝いしているんです。私が誕生日企画を考え、美味しいケーキ屋さんを開拓して誕生日ケーキを用意しています。夏休みにはニューヨークへ旅行に行つたりとオフも充実していて、研修医のイメージにあるような、雑務に追われる辛い生活ではありません(笑)。医師になつて本当に良かったと思える日々を過ごしています。

“やらされる”のではなく、  
積極的な研修ができる。  
だから経験したことがちゃんと  
自分のものになるんです。



突然の手技の機会にも積極的に参加。この日は皮膚科の先生に呼んでいただき、皮膚生検のため患者さんに麻酔をかけて皮膚を切除。



## | PROFILE | Mari Ikenaga

出身地：長崎県長崎市  
出身大学：長崎大学医学部 2013年度卒  
趣味：旅行  
座右の銘：アグレッシブに!  
大切なモノコト：家族

## Feature 02 池永まり先生

諫早総合病院  
(長崎大学病院たすきがけプログラム)  
初期臨床研修医

長崎生まれ長崎育ち。長崎の人とのよさや住みやすさなど、慣れ親しんだ長崎が好きで、研修は長崎大学病院で。一年目は「たすきがけ」で、諫早総合病院にて研修。



長崎は本当にキレイ  
景色がたくさん。  
ツーリングが  
何倍も楽しくなる！

やっぱり  
バドミントンって  
最高！！

学生時代に熱中したバドミントン。  
学生時代の大会では優勝も経験しました。

学生時代の最後に仲間たちと一緒に  
ツーリングに行ったときの写真。  
長崎は空も海もキレイで広くて、風も  
心地よくて。特に五島は海が近く、  
最高の景色が味わえます！

ここは島ということで環境も抜群にいいんです。海は透明度が高くて本当にキレイ。私はバイクが趣味なんですが、島を走ると本当に気持ちがいいですね。海の幸なんか新鮮で、スーパーの寿司でも、本格的なお寿司屋さんのものに引けを取らないほど美味しいんです。研修が始まり1年が経つて想像以上に成長しているつて実感しています。これも指導して下さる先生方やスタッフのみなさん、そして出会った患者さんたちのお陰。本当に感謝です。「神田先生と出会ってよかったです」。そう言ってもらえる医師になれるよう、もっともっと医師という職業に凝つていきたいです。

総合診療医としての力もあるので本当に勉強になります。

私はとても凝り性なところがあつて、大学時代はバドミントンに凝つて一日中やつてた時期もありました。今でも地域のチームにお邪魔してバドミントンしたり、後輩の追いコンの試合に行つたりしています。現在は医師という職業に凝ついて、土・日も病院に行っています。上の先生方はみんなお兄さん、お姉さんみたいな存在で、一緒に仕事をすることができ楽しいですね。



医師という職業に“凝つて”います。  
仕事が好きだから、  
忙しくても楽しいですね。

#### | PROFILE | Moe Kanda

出身地：長崎県長崎市  
出身大学：長崎大学医学部 2013年度卒  
趣味：ツーリング、バドミントン  
座右の銘：一生懸命  
大切なモノ・コト：「ありがとう」の気持ち



五島列島は日本有数の椿の  
自生地。冬から春にかけて美  
しい椿が島を彩ります。

## Feature 03 神田萌先生

長崎大学病院で産声を上げ、長崎大学卒業まで  
24年間ずっと長崎市で暮らす。研修先は地元に  
はこだわらず、自分が本当に行きたいと思った  
上五島病院へ。



慕われるって本当に嬉しいこと。

患者さんの期待に

大きく応えていきたいです。



#### | PROFILE | Kyohei Araki

出身地：長崎県佐世保市  
出身大学：久留米大学医学部  
2013年度卒  
趣味：ドライブ、映画、睡眠、インターネット  
座右の銘：一期一会  
大切なモノ・コト：同期の仲間たち

でいますが、家賃は月に駐車場代込みで14000円。それに病院のPHSが圈内なほど、病院と近いんです(笑)。休日は趣味のドライブがてら、地元の佐世保や福岡に買い物に行ったり、すぐ近くにある嬉野温泉や映画を観に行ってます。学生時代から車が欲しくて、お金を貯めて今年に入つて買いました。長崎は景色がいいところがいっぱいあるし、長崎医療センターはどうへ行くにも便利なローケーションにあるので、ドライブを楽しむには最高の環境です。

現在、僕は長崎医療センターの寮に住んでいますが、5歳の女の子からラブレターをもらつたんですよ。慕われるって本当に嬉しいことですよね。患者さんにも恵まれています。本当によくしてもらっています。



学生時代から欲しかった念願の車を購入し、オフもますます充実。



## Feature 04

長崎医療センター  
初期臨床研修医

# 荒木杏平先生



実は僕には密かな野望があるんです。  
長崎医療センターのマスコットキャラクター『ハリドッグ太』くんを全国的に有名にすること。見ているだけで自然とみんな笑顔が出てくる、癒し系キャラなんです。

僕が研修をしている長崎医療センターは、40年以上にも及ぶスーパー・ティート研修の歴史があります。先生方だけではなく、看護師さんや、その他スタッフの方々も研修医を指導するというベースが確立されていて、研修医にとって大きく成長できる病院です。それに研修医の数も一年年約20人と多く、しかも日本全国から来てます。その数だけ勉強や医療に向かう姿勢などを見習うことが多く、色々な考え方を吸収できるのもいいですね。

長崎医療センターの医療は、救急や周産期医療にも力を入れて、総合診療科もある。それに、ドクターヘリで離島や県外から多くの患者さんが運ばれてくるのも特徴。ドクターヘリには乗れませんが、離島搬送は研修医でも経験することができます。とにかく、バランスよく、しかも多彩なことが経験できるんですね。

現在、小児科を回っていますが、入院している5歳の女の子からラブレターをもらつたんですよ。慕われるって本当に嬉しいことですよね。患者さんにも恵まれています。本当によくしてもらっています。



景色がいいので、たまに海沿いの道を歩いて帰ったり、自転車で通ったりすることも。海沿いのテラスで美しい景色を眺めながら海の幸やお酒を楽しむのも最高。

研修先を決めるときは、出身地である東京の病院も見学したんですが、結局、長崎から外に出るメリットが見い出せなくて長崎大学病院に決めたんです。自分にとって、長崎を超える魅力のある研修場所がなかったんですね。「たすきがけ」で長崎市立市民病院で研修することに。仲のいい先輩が長崎市立市民病院の研修で「すごく活き活きとしていて、その姿に憧れました」。

研修の最初のオリエンテーションでは、「社会人としてどうあるべきか」を教えていただき

ました。手紙での敬語の使い方などを、院長自らプリントをつくつて教えて下さったり、先生方がカルテの書き方を教えて下さったり。その添削のやり取りを通じてコミュニケーションができ、スムーズに臨床研修に入ることができます。ここでは、研修医がファーストタッチをして、診断から初期治療までを自分の力で行

うんです。だから確実に力がつき、課題もしつかりと分かる。先生だけではなく、点滴の取り

方などは看護師さんが教えて下さったりと、

病院スタッフのみなさんも指導熱心なんです。

理想の医師像は、小さい頃、病気になつたら

いつも診てもうっていたおじいちゃん先生。話して

いるだけで安心できる先生でしたね。私も

そんな医師になりたいです。

長崎市は、買い物も、遊びも、観光スポット

も、多彩な魅力がギュッと狭い範囲に濃縮さ

れ、さらに路面電車がたくさん走っているの

で、どこに行くにも近くて便利で楽しめる。

長崎市立市民病院の目の前には「水辺の森

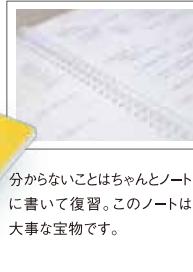
公園」が広がり、港も目と鼻の先で、景色がス

テキなんです。昼はオーシャンビューや、夜には

キレイな夜景が広がります。オンもオフも贊

沢な研修医ライフを送っています。

※この記事は平成26年1月に取材したものです。文中の「長崎市民病院」は、平成26年2月24日に新設開院し、「長崎みなとメディカルセンター市民病院」となります。



分からることはちゃんとノートに書いて復習。このノートは大事な宝物です。



私の大切なペット。金魚の「ちょば」です。毎晩、癒してもらっています。



#### | PROFILE | Aki Hirano

出身地： 東京都  
出身大学： 長崎大学医学部 2013年度卒  
趣味： ハンドクリーム集め  
座右の銘： 一生懸命  
大切なモノコト： 感謝の気持ち

#### Feature

# 05

長崎みなとメディカルセンター市民病院  
(長崎大学病院たすきがけプログラム)  
初期臨床研修医

## 平野亞紀先生

東京都出身。小さい頃から長崎の祖父の家に遊びに行くたびに長崎の魅力にはまり、長崎大学へ進学。研修は長崎大学病院の「たすきがけ」で長崎市立市民病院へ。



素晴らしい同期や指導医、  
先生方、そして患者さん。  
出会いって大切なって  
実感します。

## | PROFILE | Kaori Oyama

出身地：長崎県佐世保市  
出身大学：福岡大学医学部 2013年度卒  
趣味：テニス  
座右の銘：継続は力なり  
大切なモノ・コト：出会い



煮込みハンバーグ。  
我ながらとても  
美味しいかったです。

これからレバーティーを  
コツコツ増やしていくた  
いです。

私は土、日と合わせて5日間の連休にして  
オーストラリアに行つてきました。  
休日は、研修医室で呼びかけて飲みに  
行ったり、女子会をしたり。研修医の半分  
くらいが他大学出身で、先生方の出身もさ  
まざまですが、みんなとてもフレンドリーで  
す。同期や上の先生方も恵まれ、患者さ  
んもいい人ばかり。毎日皆さんから何かしら  
学んでいます。出会いって本当に大切なた  
て実感しています。



仕事帰りにたまに行く、長崎大学  
病院の近くにある焼き鳥屋の「隠  
れ家 嘉悦」さん。このレバーはも  
の凄く美味しいんです。



え案の休日！



土、日とリフレッシュ休暇の3日間で5日連休を  
取ってオーストラリア旅行へ。



女子会、最高！

## Feature 06 大山かほり先生

長崎大学病院  
初期臨床研修医

長崎県出身。高校は佐賀で寮生活を送り福岡大学へ進学。  
中学卒業から長崎県を離れて暮らす。生まれ育った長崎  
が好きで研修先は長崎大学病院へ。

女子会や、同期との飲み会など、楽しい  
イベントもたくさん。何でも相談できる仲間た  
ちがたくさんいます。

研修先を長崎大学病院に決めたのは、丁寧  
で細やかな教育体制がしっかりしてい  
るから。指導医の先生に限らず、病院全体  
で研修医の教育に力を入れているので、安  
心して研修ができます。カンファやサマリーの  
添削を通して、検査や治療の根拠をしつか  
り考えることができますし、雑務も少なく、  
自分の勉強する時間がしっかりと取れるのも  
いいですね。

手技に関しては丁寧に指導して下さるの  
で、安全に、確実にレベルアップできます。最  
初は怖かった手技も、数をこなすうちに自  
信がつきました。シミュレーションセンターに  
は、約70種類のシミュレーターや、縫合セット  
などのトレーニング器具が充実しているの  
で、それを使って手技の確認をすることが  
できます。さらに研修医向けの勉強会も  
多く開催されているので、回っていない科の  
ことも幅広く学べるし、Wi-Fiが院内どこで  
も繋がっているので、いつでもiPadで調べも  
のができます。このようにとにかく環境が  
整っているので、ちょっと空いた時間でも有  
効に利用できるんです！

また長崎大学病院には、有給休暇とは別  
に、リフレッシュ休暇があります。1月から12  
月までの間で3日間、休みが取れるんです。



同期とは切磋琢磨しながら、日々大きな経験を積んでいます。佐世保中央病院を、そして長崎県の医療を仲間たちと盛り上げていきたいですね。

休日はサイクリングをしたりツーリングを行ったり。長崎は景色も風も、その全てが心地いいんです。

毎回、とても  
勉強になります!  
勉強になります!



学会や講習会、セミナーにも積極的に参加。他県や他病院の医師との情報交換などで交流も深めています。

様々な研修をしているのか、どんな環境なのか、やはり実際見ないと分からないことばかりだと思います。是非、見学に来て、佐世保中央病院、そして長崎の素晴らしい雰囲気を感じて欲しいですね。

も、手技の際にには積極的に呼んでいただけます。気管挿管、CVPカナ、Aライン、胃カメラ、気管支鏡、DCなどの手技、そして救急の対応など圧倒的な数を経験することができます。それにBLS、ACLS、ISLS、TNT研修など、受けたい講習会をバックヤードで、それを受け実践に活かす機会が多くあります。いつもでも謙虚に、そしてアクティブラーニングで学び続け、どこまでも成長していきたいですね。

休日もアクティブに動き回っています。マラソン大会(リレーマラソンなど)に出場したり、サイクリングに行ったり。学生時代は卓球部に所属して、かなり走り込んでいたので、体力には自信があるんです(笑)。長崎は美しい景色がたくさんあるから、マラソンやサイクリングやツーリングなど本当に楽しめます。

どんな研修をしているのか、どんな環境なのか、やはり実際見ないと分からないことばかりだと思います。是非、見学に来て、佐世保中央病院、そして長崎の素晴らしい雰囲気を感じて欲しいですね。



#### PROFILE | Takahiro Ikeda

出身地：長崎県長崎市  
出身大学：長崎大学医学部 2013年度卒  
趣味：ランニング、自転車(ロードバイク)  
座右の銘：学び続ける医師でありたい  
大切なモノ・コト：挨拶、スポーツマン魂

みんなで決めポーズ!  
チームワークも重視



医師仲間でチームを組んでマラソン大会に参加。休日もアクティブに過ごしています。

## Feature 07 佐世保中央病院 初期臨床研修医 池田貴裕先生

長崎生まれ、長崎育ち、長崎大学出身で生粋の長崎人。研修先は、見学時に病院の雰囲気に一目惚れして、佐世保中央病院に決める。

ぜひ、病院見学にお越しください!

新・鳴滝塾が病院見学をサポートします。



注目!!  
病院見学時などの  
旅費のサポートあり



長崎県以外の出身者も  
たくさんいます!

2013年度 長崎県の初期臨床研修医  
91名中 34名が県外出身者です。

#### 【長崎県の研修病院ネットワーク】

長崎大学病院/長崎みなとメディカルセンター 市民病院/  
長崎原爆病院/済生会長崎病院/上戸町病院/長崎北徳洲会病院/長崎医療センター/市立大村市民病院/諫早総合病院/長崎県島原病院/佐世保市立総合病院/長崎労災病院/佐世保中央病院/佐世保共済病院/長崎県五島中央病院/長崎県上五島病院/長崎県対馬いづはら病院

研修するなら長崎で!

ナガサキ 新・鳴滝塾  
ALL NAGASAKI

新鳴滝塾

(web) [www.narutaki-jyuku.jp](http://www.narutaki-jyuku.jp)  
(e-mail) [info@narutaki-jyuku.jp](mailto:info@narutaki-jyuku.jp)  
携帯電話からの病院見学のエントリーはこちらから→



RESIDENT  
in  
NAGASAKI

with N

編集後記

日本列島の西の端、大小1,000近くの島々をもつ長崎県。

周囲を海に囲まれ、美しい自然と豊かな海洋資源に恵まれたところです。

江戸時代は国内唯一の貿易港として、西洋からさまざまな文化が入ってくる玄関口として発展し、西洋の優れた学問や文化を学ぼうと、全国から志を持つ若者たちが集う町でもありました。

そのような歴史が、常に新しいことに目を向け、外から訪れる方々を温かく迎え入れる長崎人の気質を育んだかもしれません。

長崎の魅力、そして長崎で働く研修医たちの魅力を伝えたい!

RESIDENT in NAGASAKI『withN』は、そんな思いでつくった冊子です。

少しでも長崎に興味を持っていただけたら嬉しいです。

笑顔の素敵な研修医たちに会いに長崎へ来てみませんか?

#### STAFF CREDIT

発行	長崎県医師臨床研修協議会【新・鳴滝塾】 林田 昌子、桑原 裕香、浜田 久之
編集制作	【民間医局】株式会社メディカル・プリンシブル社
制作協力	株式会社メディア出版 池袋編集センター
アートディレクター	勝又 シゲカズ
ライター	田口 素行
カメラマン	小山 英樹
デザイナー	正代 結希

[ 住 所 ] 〒852-8501長崎市坂本1丁目7-1  
[ TEL ] 095-865-8351  
[ E-mail ] info@narutaki-jyuku.jp  
[www.narutaki-jyuku.jp](http://www.narutaki-jyuku.jp)



2014 SPRING | ウィズン | RESIDENT in NAGASAKI with N | 長崎県医師臨床研修協議会【新・鳴滝塾】

